



南雲和夫

苦境をバネに新生湯沢の実現を

町長答弁

1 ロープウエー職員16名の処遇についての意向調査を行い、おしつけでなく、十分に話をした中で対応していきたい。

日本ケープル(株)とは、6月までに民営化に向けた基本合意に向けて協議を進めていく。

他施設についても、指定管理者制度導入に合わせ直営か制度導入かを見極めて検討を進めたい。職員の適正人員については今後の動向などに注意して、修正、見直しを含め検討していく。

質問

2、「町長車運転業務委託」廃止の考えについて。

3、「あいらび運動」が町民に見える姿として伝わってきていないが、その対応について。

4、「寒冷地手当」を全廃する考えについて、湯沢で

生まれ育ち、働いている雇用環境、生活環境からしてみても、特に必要だとは思われないが。

町長答弁

2、職員の配置、またどういう形で是正できるのかも含め検討させていただきたい。

3、観光立町として相応しい対応と意識改革の上でも重要であり、周知を図っていく。

4、手当の意味合いを検討していく中で、今すぐやめるということではないが、そう遅くならない時期に答えを出させていただく。

情報化時代の

対応について

質問

分かりやすい町政、安全で安心な町、また観光情報発信など、町政一新を

に見える形として表現できないか

F M ゆきぐにの年間契約など有機的な利用方法は考えられないか「広報」「館報」の補完、町長の自らの町づくりの考えをメッセージとして

伝える手段、仕事量の多さからくる物理的条件の緩和、費用対効果からも検討に値すると思うが、特に災害予防への周知、防災に対するタイムリーな伝達など主体性が望まれている時と思うが。

町長答弁

16年までは防災契約を結びスポット的に利用していたが、事業の見直しの中で昨年は契約していない。費用がそれほどかからないことから、効果を考え、どういった形が良いのかを含め検討していきたい。

質問

ラジオ難聴地域解消のため



六日町FM雪国放送局

めの取り組みをどのように進めていくのか。

町長答弁

難聴解消に三基の建設が必要であり、一基につき7〜8千万円の建設費が必要とされる。この問題をクリアーできないと難しいし、どういった補助金が適応となるのか調査、研究をしたい。またFMゆきぐにから三俣から先にも設置したい旨の話がありますが、財政支援が前提となっていることもあり、課題の解消に向けて検討していきたい。

一

般

質

問